

平成19年8月21日

京情協 地域情報化委員会（19年度 第3回） 議事録

開催日時：平成19年8月21日（火） 17:00～18:00

開催場所：京都コンピュータ学院駅前校 本館 1階 インフォメーションルーム

参加者：古川、小林、福本、桧山、和田、中川、桂田

配布資料：地域情報化委員会(第3回)議題、資料①～資料⑥

議事：

1. 今期の活動計画に対する進捗状況

1) リクルートにおける大学との連携（資料①～④）

- ・活動項目毎に今期の活動範囲・内容を正副委員長で整理し、進捗報告を行った（詳細は資料①参照）。また以下の決定・検討を行った。

[1] 学生向け業界解説資料（ガイドブック）の作成・配布について：

⇒他団体の資料収集を和田氏に依頼し、了承を得た。補助金を利用して資料作成している県がいくつかあるとの事で、和田氏にANIA会報を元に調べて頂く。

[2] 近隣大学との採用に関する長期的な連携の確立を目指した広報活動について：

⇒洗い出した京都市近辺の大学一覧を元に、大学毎のカラー等を見極めた上で訪問校を正副委員長で5校ずつ程ピックアップする予定である旨、福本氏より進捗報告がなされた。

[3] 会員企業向け新卒採用支援セミナー開催について：

⇒日程は11月後半の予定とし、講師候補の方（マイコミの方）に3日程候補日を挙げて頂いた上で確定する（講師候補の方への確認担当：桧山氏）。地域情報化委員会の前後に実施する案も出た。場所はKCG4階の予定。所要時間は講義（1時間30分）＋質疑応答（30分）程で検討する。

[4] 京情協主催の合同企業説明会の開催（KVBCとの共催も検討）について：

⇒先日、中川がKVBC代表幹事に正式依頼し了承を得た。近日中にKVBCの担当の方と打ち合わせの機会を設ける旨、中川より進捗報告を行った。

[5] 近隣の大学の学内企業説明会に京情協としてエントリーする件について：

⇒上記[2]の訪問時に大学にヒアリングし、その結果を受けた上で動いていく。

[6] 諸々の採用に関する情報の会員企業への発信について：

⇒採用担当者にとって参考になりそうな情報を洗い出した上で情報源の候補を選定、広報委員会と連携して発信していく方向である旨、桂田より進捗報告を行った。中川より広報委員長の河合氏に依頼する。

[7] 小・中学生向けのイベント・コンテスト実施活動について：

⇒京都シルバーベンチャークラブ会長が委員として参加している「京都子どもモノづくり事業推進委員会」にて小学生向けのコンテストを実施している事を確認した。但し、「京都子どもモノづくり事業推進委員会」の第1回議事録を確認したところ、委員会の主旨が「ITとは対極の大工仕事のようなリアリティのあるモノづくりを体験してもらう」事であり、当委員会の意向とマッチ

しない事が判明した。将来的には啓蒙活動の一環として取り組んでいきたいテーマではあるが、今回は「京都こどもモノづくり事業推進委員会」の活動に関わる事は考えない旨、決定した。

⇒和田氏より KCG が高校生向けのセミナー（IT 離れを防ぐために KCG のためだけでなく広く行う事を目的）を検討しており、京情協の企業に協力を得られないか打診があった。個別に可能な企業が協力する方向で検討。セミナーが確定した時点で和田氏よりあらためて依頼の予定。

2) IT コンソーシアム京都関係（資料⑤）

- ・地上デジタル放送活用部会に中川が出席し、慶応大学におけるワンセグ放送の取り込み事例などの紹介を行った。キャンパス内限定の放送で人気があったのは食堂の空き状況であった事や、現在の携帯にはない機能だが電源を強制的に ON にして緊急放送を流す事が可能である事などの報告を行った。

3) 賀詞交換の新春セミナー

- ・講師の方から受諾頂いているが一度顔を合わす機会を設けたい旨、和田氏より話があった。セミナー会場は KCG でほぼ確定。

4) その他（京情協の有様、試作産業創出関連）

- ・特に報告なし。

2. 「3Dインターネット（セカンドライフ）活用ビジネス研究会」について（資料⑥）

- ・産学連携の取り組みであるため当委員会の活動項目の一つとして検討してはどうかとの話を行った。8/30 のセミナーに中川が出席した後で当委員会としてどう取り組んでいくか検討を行う事とする。

3. その他

- ・特になし

以上